

札幌市・慶應義塾大学DP研究センター共同プロジェクト
討論フォーラム「雪とわたしたちの暮らし」
— 参加のしおり —



- ❧ 平成26(2014)年3月15日(土)、札幌市男女共同参画センターを会場に市民約200人が一堂に会し、札幌市の今後の雪対策について考える討論フォーラム「雪とわたしたちの暮らし」を開催します。
- ❧ このしおりは、討論フォーラムにご参加いただく皆さまに、当日のスケジュールや会場のご案内、事前にご用意いただくものなど、必要となる情報をまとめたものです。
- ❧ この資料に関してご不明な点などがございましたら、お気軽にお問い合わせください。



【お問い合わせ先】

札幌市市長政策室広報部市民の声を聞く課
札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎1階
電話番号:011-211-2045(直通)
(電話受付時間:平日8:45~17:15)

討論フォーラムへ参加される皆さまへ

札幌市と慶應義塾大学DP研究センターは、「雪とわたしたちの暮らし」をテーマとして、市民の皆さまに除雪水準や費用負担の問題などについて幅広くお聞きし、今後の雪対策の参考とさせていただくため、1月中旬より、郵送による世論調査を実施いたしました。

このたびは、この世論調査にご協力いただき、また、3月15日（土）に実施いたします討論フォーラムへのご参加も表明いただきまして、誠にありがとうございます。

当日ご参加いただく皆さまは、雪対策の専門家である必要はありません。普通の市民感覚でお話いただくことが大切です。何もご心配なさらず、個人として、討論フォーラムにご来場いただければ幸いです。

また、事前に同封する「討論資料」をぜひご一読なさってからご来場ください。札幌市が抱える雪対策の問題に対して、理解を深めていただいた上で、当日討論フォーラムに参加していただくことで、充実した議論が展開されることを願っております。

なお、この討論資料は、参加者の皆さまにのみお配りしておりますので、情報の取り扱いにはご留意をいただけますと幸いです。何卒ご協力くださいますよう、よろしく願い申し上げます。

当日の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

平成26（2014）年3月

札幌市・慶應義塾大学DP研究センター共同プロジェクト

「雪とわたしたちの暮らし」討論型世論調査

プロジェクト代表 曾根 泰教

（慶應義塾大学大学院教授）

目次



-
- ❧ 1. 討論フォーラムの日時・会場
 - ❧ 2. 討論フォーラムのスケジュール
 - ❧ 3. 謝礼のお支払について
 - ❧ 4. 討論型世論調査の実施体制
 - ❧ 5. Q&A

1. 討論フォーラムの日時・会場

日時：平成26(2014)年3月15日(土) 9:00~18:30

当日は、9時から9時30分までの間に、3階の討論フォーラム受付へお越しください。

会場：札幌市男女共同参画センター
(札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ3階)

JR札幌駅北口より徒歩5分、北口地下歩道12番出口



会場は、バリアフリー構造となっています。エスカレータまたはエレベータで、3階の受付まで、お越しください。

駐車場の用意はありませんので、公共交通機関でお越しください。

休憩時間には、1階の情報センターや2階の札幌市環境プラザなどもご利用いただけます。

当日の緊急連絡先：090-7514-9732
(※ 3月15日(土)のみ使用できます。)

補足事項



託児サービスについて

- ☞ 事前に託児サービス(無料)のご利用をお申し出いただいた方は、当日、受付でお伝えください。

昼食 (アレルギー) について

- ☞ 昼食にはお弁当を用意しておりますが、食物アレルギーのある方は、ご持参ください。また、お子さまなど同伴の方の昼食もご持参ください。

謝礼のお支払について

- ☞ 討論フォーラムに最後までご参加いただいた方には、謝礼として、8,000円を贈呈いたします。

2. 討論フォーラムのスケジュール

- ❧ 会場内の移動は、すべてスタッフがご案内します。
- ❧ 適宜、休憩をはさみます。時間に余裕をもって計画しておりますので、ご安心ください。

9:00～9:30	受付	3階の受付で、参加証・口座振込申出書をお渡しください。当日の資料をお渡しします。
9:30～10:00	全体説明会 (討論前アンケート)	3階のホールで、今回の討論型世論調査についてご説明します。その後、討論前アンケートにご回答いただきます。
10:10～11:40	小グループ討論① 「雪対策のいま」	15人程度の小グループに分かれて、モデレータの進行の下で、参加者同士で話し合いをし、専門家へ尋ねたい質問をまとめます。
11:40～12:40	昼食	お茶とお弁当をご用意します。小グループ討論の会場で、お召し上がりください。
12:50～14:20	全体会議① 「雪対策のいま」	3階のホールで、小グループ討論①で出てきた質問について、専門家が回答します。
14:30～16:00	小グループ討論② 「雪対策のこれから」	小グループ討論①と同様に、話し合いを行い、質問をまとめます。
16:20～17:50	全体会議② 「雪対策のこれから」	3階のホールで、小グループ討論②で出てきた質問について、専門家が回答します。
18:00～18:30	全体説明会 (討論後アンケート)	3階のホールで、討論後アンケートにご回答いただきます。最後に、閉会の挨拶をします。
18:30(予定)	解散	

3. 謝礼のお支払について

- ❧ 討論フォーラムに最後までご参加いただいた方には、8,000円の謝礼を贈呈いたします。
- ❧ 支払方法は、後日、銀行振り込みとさせていただきます。
- ❧ 同封の「口座振込申出書」について、下の記入例の赤字で記されている部分をご記入いただき、**署名捺印の上**、当日、受付にお持ちください。
- ❧ 謝礼は、ご指定いただいた銀行口座に、4月末までに、札幌市役所よりお振り込みいたします。

「口座振込申出書」の記入例

署名捺印を忘れず
お願いいたします。

口座振込申出書	
札幌市長様	平成 26年 3月 15日
住所 〒060-8611	札幌市中央区北1条西2丁目
氏名	札幌 太郎 印
電話	211-2045
「雪とわたしたちのくらし」(討論型世論調査)討論フォーラムへの参加に係る謝礼金については、下記の口座に振込をお願いします。	
記	
フリガナ 口座名義	(サッポロ タロウ 札幌 太郎)
金融機関名	(札幌市役所) (銀行 信組・信金 農協・その他) (大通) (支店 本店)
口座種別・番号	普通 当座
	1 2 3 4 5 6 7

口座番号に誤りがない
ことをご確認ください。

4. 討論型世論調査の実施体制

プロジェクト代表

事業の実行責任者として、全体統括を行います。

曾根 泰教 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授
(慶應義塾大学DP(討論型世論調査)研究センター研究代表)

企画・運営

討論型世論調査の企画・運営を行います。

慶應義塾大学DP(討論型世論調査)研究センター

全体監修

アンケート調査票及び討論資料に関して、手法についての専門的見地から意見を提供するとともに、小グループ討論のモデレータ(司会)を研修します。併せて、今回の事業全体を通じて、公式の討論型世論調査の手法に従って実行されているかどうかを監修します。

ジェームズ・S・フィシュキン スタンフォード大学コミュニケーション学部教授
(スタンフォード大学DD研究センター所長)
アリス・シュー スタンフォード大学DD研究センター副所長

アドバイザー委員

アンケート調査票及び討論資料に関して、テーマについての専門的見地から、意見や助言を提供します。また、討論フォーラム(全体会議)のパネリストも兼務します。

赤城 由紀 札幌国際大学人文学部准教授
内田 和男 北海道武蔵女子短期大学学長
小山 茂 札幌大学地域共創学群教授
杉岡 直人 北星学園大学社会福祉学部教授
乳井 文夫 札幌市除雪事業協会会長
萩原 亨 北海道大学大学院工学研究院教授
原文宏 北海道開発技術センター理事 (五十音順)

※ 討論フォーラムのパネリストのプロフィールは、当日にご案内します。

5. Q&A

Q1. 討論フォーラムでは、何をするのでですか。

A はじめに、「雪とわたしたちの暮らし」についての皆さまのお考えをアンケートでお尋ねします。その後、15人程度の小グループに分かれて、お話し合いいただきます(小グループ討論)。この小グループ討論で出てきた疑問点などを、参加者が一堂に会して、専門家に対してご質問いただきます(全体会議)。この小グループ討論と全体会議を2回繰り返します。最後に、再び、皆さまのお考えをアンケートでお尋ねします。

Q2. 討論フォーラムは、いつ行うのですか。

A 平成26(2014)年3月15日(土)の9:00～18:30に開催します。なお、受付を9:00～9:30の間に済ませてください。

Q3. 討論フォーラムは、どこで行うのですか。

A 会場は、札幌市男女共同参画センターです。JR札幌駅北口より徒歩5分の場所にあります。札幌駅の地下からは、地上に出ることなく北口地下歩道で12番出口から直通です。札幌市消費者センター、札幌市市民活動サポートセンター、札幌市環境プラザなどと同じ建物(札幌エルプラザ)です。

Q4. 札幌市における雪対策の問題について、詳しい知識を持っていないので、不安です。また、「議論」や「討論」と聞くと難しそうな気がします。

A ご安心ください。雪対策についての情報を整理した「討論資料」を同封しましたので、それをお読みいただければ、それ以外に特別な知識は必要ありません。また、「議論」や「討論」といっても、日ごろ、皆さまがお考えになっていることや実感などをお話しいただければ大丈夫です。

Q5. どのような人が参加するのですか。

A 札幌市在住の18歳以上の3,000人の方を無作為で選び、通常の世界論調査を実施しました。この世界論調査の回答者のうち、討論フォーラムに参加してもよいとお答えいただいた約200人の方々が参加します。なお、今回は希望者多数であったため、抽選で選ばせていただきました。

Q6. 初めて会う知らない人と議論をする自信がありません。

A 十分に訓練されたモデレータ(司会者)が、各小グループに1人ずつ付き、参加者全員が話しやすい雰囲気を作るよう努力します。15人程度の小さなグループですので、和やかにお話しいただけます。

Q7. 討論フォーラムは公開されますか。多くの人が見ている中で発言をする自信がありません。

A 討論フォーラムは、原則として非公開です。小グループ討論や全体会議の会場には、事前に登録し許可されたごく少数の見学者(研究者や行政関係者など)がいることがありますが、参加者の邪魔にならないように注意させます。もし差し支えるようであれば、当日、運営スタッフにお伝えください。

Q8. 途中参加や早退はできますか。

A 途中参加や早退はできません。調査の都合上、朝に実施する最初のアンケート調査から、夕方に実施する最後のアンケート調査まで、すべてにご参加いただくようお願いします(お手洗いなどによる一時的な退出は問題ありません)。

Q9. 参加するために費用はかかりますか。謝礼はいつもらえるのですか。

A 費用は一切かかりません(会場までの交通費は自己負担となります)。また、討論フォーラムの最後までご協力いただいた方には、8,000円の謝礼を贈呈いたします。謝礼は遅くとも4月末までにご指定の口座に振り込みさせていただきます。

Q10. 昼食は用意した方がいいですか。

A お茶とお弁当をご用意しますので、必要ありません。ただし、食物アレルギーなどで食事に制限のある方は、ご持参ください。また、託児施設を利用されるお子さまなど、同伴の方の昼食も、ご持参ください。

Q11. 服装は自由ですか。

A 皆さまにリラックスして参加していただくため、服装は自由となっています。討論フォーラムの会場の空調管理には注意しますが、念のため、体温調整のしやすい服装でお越しください。

Q12. 配偶者や子どもを同伴することはできますか。

A 討論フォーラムそのものへの参加は、ご本人のみとさせていただきます。同伴の方は、事前にお知らせいただければ、討論フォーラムを見学していただくことができます。

Q13. 乳幼児を連れて参加することはできますか。

A 無料の託児施設を、討論フォーラムの会場内(全体会議の会場と同じフロア)に設けます。託児スタッフの用意や遊具等の準備のため、託児サービスをご利用予定の方は、事前に、年齢・性別・注意事項等をお知らせください。

小さいお子さまは、ほかにご同伴の方がいらっしゃれば、討論フォーラムを見学いただけます。同じ建物内の情報センター(1階)や札幌市環境プラザ(2階)などもご利用いただくことができます。

なお、会場には、授乳室も用意しております。

Q14. 持病や障害があるため、参加するのが不安です。

A 討論フォーラムの会場は、バリアフリー構造です。階段のほかに、エレベータやエスカレータがあります。そのほかに、何かサポートが必要な方は、事前にご相談ください。

なお、申し訳ございませんが、当日の手話通訳は、ご用意しておりません。

Q15. 車で行ってもよいですか。

A 駐車場の用意はありませんので、公共交通機関でお越しください。札幌エルプラザのビルには有料の駐車場(38台収容、20分100円)がありますが、ご利用なさる場合にはご本人の負担となります。

Q16. 同封の「討論資料」は、中立的な立場で作られたものですか。何か特定の考え方を押し付けられたりしていませんか。

A 同封の討論資料は、慶應義塾大学DP研究センターが、北海道在住の専門家によるアドバイスを受けて、作成したものです。雪対策や生活についての多様な意見をもった複数の学識経験者のチェックを受けて、中立的な観点で作成したものであり、参加者を特定の考え方に誘導するものなどではありません。

Q17. 私の個人の意見が公表されることになるのですか。

A 皆さまにご協力いただくアンケート調査などは、すべて統計的に処理を行い、全体をまとめた結果のみを公表します。個人が特定されるようなことは決してありません。また、討論の様子を報道機関が取材することもあります。取材に関するご本人の同意が得られない方については、メディアに対して配慮を求めるように注意いたします。

Q18. この討論フォーラムはどんな機関が実施しているのですか。特定の政党・政治団体と何らかの関係はありませんか。

A 札幌市と慶應義塾大学DP研究センターとが共同で行います。DP研究センターは、慶應義塾大学公認の研究組織であり、慶應義塾大学大学院教授の曾根泰教が研究代表を務めております。また、スタンフォード大学DD研究センターが、公式の討論型世論調査として全体を監修します。政治的に中立な立場から実施しており、特定の政党・政治団体とは一切関係を持っておりません。

Q19. なぜアメリカや東京の大学の研究者が実施しているのですか。

A 今回行う討論型世論調査とは、スタンフォード大学のフィッシュキン教授らが考案したものであり、調査手法等が厳格に定められ、徹底して品質が管理されております。そこで、今回の札幌市の取り組みが公式の討論型世論調査と認定しうるかどうかを、考案者のフィッシュキン教授に確認してもらいます。

また、慶應義塾大学DP研究センターは、公式の討論型世論調査を単独で企画・運営できる日本国内で唯一の研究機関です。これまでに、自治体と連携した討論型世論調査や、日本全国の有権者を対象にした討論型世論調査を4回実施してきました。政府(内閣官房)からの受託でDP研究センターが全国民を対象に行った討論型世論調査の結果は、平成24(2012)年の国のエネルギー政策の策定の参考にされました。

Q20. 参加を予定していたが、その後、参加できなくなった場合は、どうすればよいですか。

A なるべくお早めに、札幌市役所市民の声を聞く課(011-211-2045)にご連絡ください。受付時間は、平日の8:45~17:15です。

Q21. 当日、遅刻しそうになったり、道に迷ったりした場合には、どこに連絡すればよいですか。

A 当日の緊急連絡先として、**090-7514-9732**までご連絡ください。この専用ダイヤルは、3月15日(土)当日のみ利用可能です。

そのほかにご意見やご質問などがございましたら、お気軽にお問い合わせください。スタッフ一同、3月15日(土)当日に、皆さまとお会いできることを楽しみにしております。

当日の持ち物チェックリスト

- この「参加のしおり」
- 同封の「討論資料」
- 同封の「口座振込申出書」
(記入欄・署名捺印をご確認ください)
- 同封の「参加証」(はがきサイズ)
- 筆記用具(黒色の鉛筆またはペン)



【お問い合わせ先】

札幌市市長政策室広報部市民の声を聞く課
札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎1階
電話番号:011-211-2045(直通)

(電話受付時間:平日8:45~17:15)